

平成30年3月13日

平成29年度学校評価（後期）を振り返って

京都市立洛央小学校
校長 森 江里子

学校評価にご協力ありがとうございました。

平成29年度学校評価（後期）の集計結果をお知らせします。
今年度も保護者の皆様、児童（低、高学年別）、教職員による評価（振り返り）をアンケート形式でご協力いただき、保護者の皆様には全児童数の97%のご回答をいただきました。ありがとうございました。

保護者の皆様からいただきました評価の総ての内容一つひとつにつきましては、全教職員が目を通させていただきました。学校といたしましては集計結果を真摯に受け止め、教育活動の改善に繋げていくように活用させていただきたいと考えております。



「4」そう思う 「3」大体そう思う 「2」あまりそう思わない 「1」そう思わない

①子どもに基礎・基本となる学力がついていると思われますか。（保護者）

先生は、わかりやすく教えてくれますか（児童）

児童に基礎・基本となる学力がつくよう指導していますか。（教職員）

保護者	児童（高学年）	児童（低学年）	教職員
「4」 35%	「4」 64%	「4」 91%	「4」 43%
「3」 57%	「3」 28%	「3」 8%	「3」 57%
「2」 7%	「2」 4%	「2」 1%	「2」 0%
「1」 1%	「1」 4%	「1」 0%	「1」 0%

高学年児童も低学年児童も『「4」そう思う』と『「3」大体そう思う』を合わせると90%を超える児童が「わかった」と実感できているという結果となりました。また、保護者の方も教職員も同じく90%を超える結果となりました。

例年、学習が難しくなる後期は数値の下がる傾向にあります、家庭学習の充実や指導力向上のための校内研修に取り組んできたことが好結果につながったのではないかと思われます。

しかし、『「2」あまりそう思わない』『「1」そう思わない』との回答も真摯に受け止め、今後も努力していきたいと考えています。



⑥子どもはノートに美しく、正しい字を書こうとしていると思われますか。（保護者）

いつもノートに美しく、正しい字を書くように心がけていますか（児童）

児童に、いつもノートに美しく、正しい字を書くよう指導していますか。（教職員）

保護者	児童（高学年）	児童（低学年）	教職員
「4」 29%	「4」 42%	「4」 40%	「4」 37%
「3」 47%	「3」 37%	「3」 44%	「3」 63%
「2」 21%	「2」 16%	「2」 12%	「2」 0%
「1」 3%	「1」 5%	「1」 4%	「1」 0%

高学年児童の『「4」そう思う』との回答が、昨年度前期30%，後期36%，今年度前期37%から、より増加する結果となりました。これは大変うれしいことですが、保護者の方の回答からは、「もう少し丁寧に書いてほしい」と思われていることがうかがえます。

学力向上と美しい文字で整理されたノートづくりは、大変つながりの深いものです。学校では引き続き、自分で振り返ったり、正しく美しい字を書くことの大切さを伝えたりしていきたいと考えています。お家でも、宿題をしている時などに励ましの言葉をかけていただければうれしいです。

⑦子どもが最後まで粘り強く学習するよう指導ができると思われますか。（保護者）

わからないことはそのままにしないで、わかるまで努力していますか（児童）

児童に最後まで粘り強く学習するよう指導していますか。（教職員）

保護者	児童（高学年）	児童（低学年）	教職員
「4」 28%	「4」 35%	「4」 65%	「4」 32%
「3」 58%	「3」 45%	「3」 25%	「3」 68%
「2」 13%	「2」 17%	「2」 7%	「2」 0%
「1」 1%	「1」 3%	「1」 3%	「1」 0%

保護者の方も高学年児童も低学年児童も『「4」そう思う』『「3」大体そう思う』を合わせると80%を超えるといううれしい結果となりました。しかし、『「2」あまりそう思わない』『「1」そう思わない』との回答が前期から減少しておらず、また高学年児童の数値の高いことが気にかかります。

授業の改善を一層図っていきたいと考えています。

⑩子どもは将来の夢をもって学校生活を送っていると思われますか。（保護者）

将来の夢をもっていますか。（つきたい職業だけでなく〇〇な人になりたい、でもよい）（児童）

児童が自分の将来の夢をもって学校生活が送れるよう指導・支援していますか。（教職員）

保護者	児童（高学年）	児童（低学年）	教職員
「4」 21%	「4」 76%	「4」 85%	「4」 25%
「3」 52%	「3」 16%	「3」 9%	「3」 75%
「2」 23%	「2」 5%	「2」 3%	「2」 0%
「1」 4%	「1」 3%	「1」 3%	「1」 0%

前期に引き続き、将来の夢について高学年児童・低学年児童とも『「4」そう思う』『「3」大体そう思う』を合わせると90%を超え、非常に多くの子どもが将来の夢をもっている結果となりました。これは、本校が学校教育目標の目指す子ども像に「大きな希望を胸に抱く子」を掲げ、昨年度キャリア教育の全国発表の会場校として研究を深めたことが大きいのではないかと思われます。児童が学習や生活のあらゆる場面で自分の夢を持ち、将来

展望に繋げていけるような働きかけをこれからも積極的に進めていきたいと思います。

⑪「たてわり活動」で子どもに助け合いの意識が養われていると思われますか。(保護者)

「たてわり活動」では、他学年の人と助け合って活動していますか。(児童)

児童が「たてわり活動」で助け合って活動できるよう指導していますか。(教職員)

保護者	児童（高学年）	児童（低学年）	教職員
「4」 38%	「4」 56%	「4」 54%	「4」 53%
「3」 56%	「3」 38%	「3」 36%	「3」 47%
「2」 0%	「2」 5%	「2」 7%	「2」 0%
「1」 0%	「1」 1%	「1」 3%	「1」 0%

保護者の方、高学年児童の好評価や低学年児童『「4」そう思う』との回答の増加が見られ、うれしい結果となりました。

前期にもお知らせしましたが、学校では今年度より休み時間に体育館を開放し、たてわりグループごとに長縄で遊べる機会を設けています。後期はさらに、たてわり給食も実施し、活動の充実を図ってきました。

「たてわり活動」は異学年集団で協力し合い活動することで仲間意識を育てること、一人ひとりの児童が学校の一員としての自分の役割を果たしていこうとする自覚を高めることを目的として実施しています。今後も続けていきたい取り組みの一つです。



⑫子どもはあいさつを自分から言っていると思われますか。(保護者)

あいさつは自分から言っていますか。(児童)

児童が、あいさつは自分から言えるよう指導していますか。(教職員)

保護者	児童（高学年）	児童（低学年）	教職員
「4」 24%	「4」 52%	「4」 66%	「4」 45%
「3」 56%	「3」 39%	「3」 26%	「3」 55%
「2」 19%	「2」 8%	「2」 6%	「2」 0%
「1」 1%	「1」 1%	「1」 2%	「1」 0%

高学年児童・低学年児童とも90%の児童が自分から進んであいさつができると感じていますが、保護者の方の回答はそれより低い結果となりました。

以前からの「あいさつマイスター」の取組（児童会の子どもたちが毎朝の登校時に玄関に立ち、「おはようございます」と大きな声であいさつし、元気にあいさつを返してくれる子が多い学年を「あいさつマイスター」として発表します）は大変有効で、結果を発表した時、大変喜ぶ姿が見られます。



今後も様々な取組をすすめ、自分からいつでも、どこでも、誰にでもわかる大きな声であいさつができる子どもを育てていきたいと考えています。

⑯子どもはよくない誘いを受けたら、はっきりと断れていると思われますか。(保護者)
 よくない誘いを受けたら、はっきりと断っていますか(児童)
 児童がよくない誘いを受けたら、はっきりと断る勇気の大切さを指導していますか。(教職員)

保護者	児童（高学年）	児童（低学年）	教職員
「4」 23%	「4」 59%	「4」 72%	「4」 60%
「3」 57%	「3」 34%	「3」 21%	「3」 40%
「2」 19%	「2」 5%	「2」 4%	「2」 0%
「1」 1%	「1」 2%	「1」 3%	「1」 0%

前期とよく似た結果となりました。児童の回りには危険がたくさんあります。よくない誘いを断る勇気、善悪の判断をする力などをつけられるようさらに指導を充実し、『「2」あまりそう思わない』『「1」そう思わない』を減少させていきたいと考えています。

また、子どもたちの小さな変化を見逃さないよう学校と家庭が連携して子どもたちを見守っていきたいと考えています。

⑯子どもに得意なことや良い点に気付くようはたらきかけをしていますか。(保護者)
 自分の得意なことや良い点に気付いていますか(児童)
 児童が自分の得意なことや良い点に気付けるよう支援・指導していますか。(教職員)

保護者	児童（高学年）	児童（低学年）	教職員
「4」 27%	「4」 32%	「4」 74%	「4」 50%
「3」 64%	「3」 34%	「3」 19%	「3」 40%
「2」 9%	「2」 9%	「2」 4%	「2」 0%
「1」 0%	「1」 5%	「1」 3%	「1」 0%

自己肯定感を持っているかどうかの設問ですが、『「4」そう思う』と回答した児童がわずかですが増加し、うれしい結果となりましたが、全ての児童が『「4」そう思う』との回答ができるように、児童の優れた点を認めたり、伸ばしたりし、自分を前向きにとらえられるようにしていきたいと考えています。

◆自由記述欄について

自由記述欄を設け、各家庭での読書の様子についてお尋ねしました。
 その中のいくつかをご紹介しますので、参考にしていただければと思います。

- ・毎日、朝起きて食事までの間に読書をしている。
- ・テレビを消して親が本や新聞を読んでいると、子どもも読み始める。
- ・一緒に時間を決めて本を読んでいる。
- ・どんな本でも集中して読んでいる時は、そつとしている。
- ・「お風呂を出たらテレビを見ない」と決めている。寝るまでの間を読書の時間にしている。
- ・寝る前に5分間、読み聞かせをしている。
- ・本人用の本棚を机のすぐそばに置いている。
- ・本を取りやすいように、リビングに本を置いている。
- ・ブックワールドで借りた本を持ち帰って、楽しく読んでいる。
- ・図書館に家族で行く。
- ・本を読むように言っているが、言ったその時しか読まない。継続することに意味があると教えても、聞き流している。
- ・全く読書をしないので困っている。

